



## 緊急事態宣言中の教育活動

9月30日(木)まで緊急事態宣言が延長され、学校でもより徹底した感染症対策を取りながら教育活動に取り組んでいます。3密の回避をはじめ、毎朝の検温、マスクの常時着用、手指消毒はもちろん、行事の中止や延期、授業の内容や活動の工夫、給食時の黙食、昼休みの短縮、縦割り活動の停止等々、子供たちも多くの対策に対応をしながら学校生活を送っています。もちろん本校職員の感染症対策を取りながら、情報端末をはじめICTを有効活用した個別最適化した教育の提供を目指し努力を重ねています。

そして、いよいよ情報端末を家庭に持ち帰り、タブレットを活用した家庭学習が始まります。それを充実させるためには、保護者の皆様の御理解と御協力が不可欠です。是非、気が付かれた点は、学校へ問い合わせていただき、よりよい環境を一緒に作っていきたく思いますので、御協力をお願いいたします。

文責(教頭)

7月に実施した学校アンケートの結果です。2学期以降の教育活動に生かしていきたいと思えます。御協力ありがとうございました。

## 教育活動中間報告～学校アンケートより～

### I 7月(1学期末)アンケート結果の傾向と分析

肯定率…「よくできた」「できた」の2つの評価を「概ね満足している」ととらえた割合。

(矢印は昨年度との比較…↑アップ、↓ダウン)

評価項目 (太枠がR3重点項目)		児童(%)	保護者(%)	教職員(%)
1	学校が楽しい	89 ↓	96 ↑	100 ↑
2	みんなで何かをすることは楽しい	92 ↓	97 ↑	100 ↑
3	自分にはよいところがある(生活づくり)	83	86	80
4	友達と一緒に学習するのは楽しい	93 ↑	93 ↓	100 ↑
5	主体的に学習に取り組んでいる	89 ↑	83 ↑	70 ↓
6	学習を通して、今までよりできるようになったことが増えた(学びづくり)	93 ↑	93 ↑	100 ↑
7	信頼できる先生がいる	89 ↑	70 ↓	
8	家や学校で進んで読書をしている	64 ↓	46 ↓	60 ↓

## ○全体的な評価について

- ・ほとんどの項目において、児童、保護者、教職員共に、肯定的に高い評価をしている。「友達と一緒に学習するのは楽しい」と感じている児童が多く、自分自身や友達のよいところを認め合いながら安心して学校生活を送ることができている。
- ・「信頼できる先生がいる」は、昨年度より7%上がった。1学期中に、信頼関係を築くことができ、何か困ったことがあれば相談できる関係となっている。
- ・読書については8%下がった。学校では、朝読書や図書館デーを活用して、これからも本に親しむ時間を増やしていきたい。

## ○グランドデザインに掲げた評価項目（太枠の部分）の数値目標の達成について

- ・「自分にはよいところがある」（No.3）では、「あてはまる」（46%）「まあまああてはまる（37%）」だった。自分のよいところはあるが、悪いところもあるからという理由で「あてはまる」の数値が低い結果となったことを予想する。2学期以降も、行動を価値化するボイスシャワーを掛けたり、自分と向き合いよさを見付ける時間を設定する。
- ・「学習を通して今までよりできるようになったことが増えた」（No.6）では、「あてはまる」（69%）だった。2学期も、学びが深められるような課題設定の工夫や学習用タブレットを活用し、対話力の向上と授業改善を図る。

## Ⅱ 今後の取組について

### ○学びづくり

- ・授業での課題設定の工夫をします。

ルーブリック（評価基準）を達成するための課題になっているか、課題設定の工夫や精選をします。また、学習の見通しがもてるような授業計画を行います。学びの振り返りを通して、「できるようになった」という実感をもたせます。

- ・ICTを活用し、対話力を向上させ、「できた・わかった」を実感できるようにします。

ICTを使って、自分の意見を書いたり、全体で共有したりすることにより、対話を通して協働的な学びを充実させ、どの子も授業に主体的に取り組むことができるようにします。

### ○生活づくり

- ・行動を価値化するボイスシャワーを掛けます

子どもの行動の表れや姿に、教師が「ありがとう」「うれしい」「気持ちがいいね」など積極的に言葉掛けをします。また、自分と向き合い、自分のよさを見付ける時間を設定します。一人一人のよさを家庭にも、本読みカードや学年だより、懇談会などで伝えていきます。